

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第97期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	シロキ工業株式会社
【英訳名】	SHIROKI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松井 拓夫
【本店の所在の場所】	神奈川県藤沢市桐原町2番地 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	豊川(0533)84 4691(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部庶務室長 市川 和伯
【最寄りの連絡場所】	愛知県豊川市千両町下野市場35 - 1
【電話番号】	豊川(0533)93 1269(直通)
【事務連絡者氏名】	経理部長 楓 力考
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第3四半期連結 累計期間	第97期 第3四半期連結 累計期間	第96期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	83,066	85,634	109,850
経常利益(百万円)	2,250	2,135	3,063
四半期(当期)純利益(百万円)	1,235	1,257	1,586
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	1,113	2,305	2,443
純資産額(百万円)	34,380	37,560	35,701
総資産額(百万円)	66,188	71,696	70,001
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	13.94	14.19	17.90
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	51.7	52.1	50.7

回次	第96期 第3四半期連結 会計期間	第97期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	3.35	5.08

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、当社グループは平成25年7月3日に東北シロキ株式会社を新たに設立し連結子会社といたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におきましては、国内経済は政府・日銀の金融緩和策や円安・株価上昇により回復局面にあります。また、海外においては欧米は景気回復基調であるものの、新興国は弱含みで推移しております。

このような状況の中、自動車業界におきましては、エコカー補助金制度打ち切りの反動はありましたが、景気回復及び円安が追い風となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は856億34百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益は13億40百万円（前年同四半期比38.0%減）、経常利益は21億35百万円（前年同四半期比5.1%減）、四半期純利益は12億57百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

売上高は583億71百万円（前年同四半期比5.2%減）となり、セグメント利益は2億21百万円（前年同四半期比76.6%減）となりました。

米国

売上高は172億51百万円（前年同四半期比25.2%増）となり、セグメント損失は90百万円（前年同四半期は88百万円の損失）となりました。

中国

売上高は49億47百万円（前年同四半期比7.4%増）となり、セグメント利益は2億31百万円（前年同四半期比51.9%減）となりました。

東南アジア

売上高は67億81百万円（前年同四半期比36.9%増）となり、セグメント利益は4億69百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、23億33百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	89,003,624	89,003,624	東京証券取引所 名古屋証券取引所 (各市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	89,003,624	89,003,624	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	89,003,624	-	7,460	-	9,699

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 370,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 -	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 88,081,000	88,081	-
単元未満株式	普通株式 552,624	-	-
発行済株式総数	89,003,624	-	-
総株主の議決権	-	88,081	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) シロキ工業(株)	神奈川県藤沢市桐原町 2番地	370,000	-	370,000	0.42
計	-	370,000	-	370,000	0.42

(注)上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権の数1個)あります。

なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,118	10,027
受取手形及び売掛金	17,734	18,482
商品及び製品	894	1,044
仕掛品	652	665
原材料及び貯蔵品	2,465	2,376
その他	3,715	3,735
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	36,580	36,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,991	6,109
機械装置及び運搬具(純額)	11,782	12,798
土地	3,361	3,855
建設仮勘定	3,198	2,804
その他(純額)	2,222	2,432
有形固定資産合計	26,556	27,999
無形固定資産		
その他	255	276
無形固定資産合計	255	276
投資その他の資産		
投資有価証券	1,634	1,776
繰延税金資産	1,783	1,559
前払年金費用	2,504	3,057
その他	715	723
貸倒引当金	28	28
投資その他の資産合計	6,609	7,089
固定資産合計	33,421	35,365
資産合計	70,001	71,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,437	18,038
短期借入金	865	1,075
1年内返済予定の長期借入金	281	20
未払法人税等	429	102
賞与引当金	1,088	429
役員賞与引当金	54	37
その他	4,653	4,448
流動負債合計	24,810	24,152
固定負債		
長期借入金	7,079	7,507
退職給付引当金	1,745	1,821
役員退職慰労引当金	20	14
資産除去債務	271	275
その他	373	364
固定負債合計	9,489	9,983
負債合計	34,300	34,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,460	7,460
資本剰余金	9,699	9,699
利益剰余金	19,567	20,381
自己株式	93	96
株主資本合計	36,632	37,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349	446
為替換算調整勘定	1,473	563
その他の包括利益累計額合計	1,123	116
少数株主持分	192	233
純資産合計	35,701	37,560
負債純資産合計	70,001	71,696

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	83,066	85,634
売上原価	72,620	75,413
売上総利益	10,445	10,221
販売費及び一般管理費	8,281	8,880
営業利益	2,163	1,340
営業外収益		
受取利息	20	41
受取配当金	13	17
為替差益	141	537
金型等売却益	69	131
その他	101	225
営業外収益合計	346	952
営業外費用		
支払利息	88	101
金型等売却損	115	43
その他	55	12
営業外費用合計	259	157
経常利益	2,250	2,135
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	11	0
固定資産売却損	4	-
減損損失	155	156
その他	2	5
特別損失合計	173	161
税金等調整前四半期純利益	2,079	1,975
法人税、住民税及び事業税	498	295
法人税等調整額	328	410
法人税等合計	827	705
少数株主損益調整前四半期純利益	1,252	1,269
少数株主利益	16	11
四半期純利益	1,235	1,257
少数株主利益	16	11
少数株主損益調整前四半期純利益	1,252	1,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	96
為替換算調整勘定	197	939
その他の包括利益合計	138	1,036
四半期包括利益	1,113	2,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,096	2,264
少数株主に係る四半期包括利益	16	41

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、東北シロキ株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	3,130百万円	3,293百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発効日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	265	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月15日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	177	2.00	平成24年9月30日	平成24年11月26日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発効日	配当の原資
平成25年6月13日 定時株主総会	普通株式	265	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月14日	利益剰余金
平成25年10月30日 取締役会	普通株式	177	2.00	平成25年9月30日	平成25年11月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	東南アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	59,895	13,742	4,559	4,868	83,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,702	39	46	85	1,873
計	61,597	13,781	4,605	4,954	84,939
セグメント利益又は損失()	947	88	482	402	1,744

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,744
セグメント間取引消去	419
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,163

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失又はのれんはありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	東南アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	56,873	17,182	4,918	6,659	85,634
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,498	69	28	121	1,717
計	58,371	17,251	4,947	6,781	87,351
セグメント利益又は損失()	221	90	231	469	831

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	831
セグメント間取引消去	508
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,340

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失又はのれんはありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	13円94銭	14円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,235	1,257
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,235	1,257
普通株式の期中平均株式数(千株)	88,648	88,635

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・・・177百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成25年11月26日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

シロキ工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安藤 泰行

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 哲也

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシロキ工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シロキ工業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。